

浜岡原子力発電所における次世代軽水炉開発プロジェクト 免震装置特性試験の実施について

平成 20 年 10 月 6 日

浜岡原子力発電所の構内にある工事用仮設タワークレーン用の免震装置付き台座(※1)を用いて、国、電気事業者およびメーカーが一体となって進める次世代軽水炉の開発プロジェクトの一環として行う免震装置の特性試験(※2)が実施されます。

本日、特性試験の準備のため、浜岡原子力発電所の構内において、試験装置の設置工事を開始しましたのでお知らせいたします。

(次世代軽水炉の開発プロジェクトについては [こちら](#))

特性試験の概要

The diagram illustrates the seismic test setup for the No. 4 reactor exhaust duct. It consists of three main parts:

- Photograph:** Shows the No. 4 reactor exhaust duct (4号機排気筒) supported by a steel tower (支持鉄塔). A temporary tower crane (工事用仮設タワークレーン) is positioned around it. Labels indicate the exhaust duct and the support tower.
- Cross-section:** Shows the test rig (試験装置) consisting of a jack (ジャッキ) and a seismic isolation device (免震装置, such as laminated rubber). The rig is placed on a base (台座).
- Comparison:** Compares the rig before the test (特性試験前) and during the test (特性試験時). In the 'before' state, the jack is not applied. In the 'during' state, the jack is used to apply force to the base (ジャッキで台座を加力).

【排気筒改造工事時の様子】 【現在の様子】

※1 浜岡原子力発電所4号機の耐震裕度向上工事で、排気筒を鉄塔支持へ改造した際に使用した仮設タワークレーンの免震装置(積層ゴム等)付き台座を用いて特性試験が行われます。

(浜岡原子力発電所の耐震裕度向上工事については [こちら](#))

※2 免震建屋の技術開発に係わる予備的試験として、免震装置の基本特性データ(破壊に到る特性など)を採取する試験が行われます。

以上